

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所  
第 14 期(2013 年 7 月～2014 年 6 月)通常総会  
議案書

- ・第1号議案 第13期(2012年7月～2013年6月)事業報告
- ・第2号議案 第13期(2012年7月～2013年6月)決算報告
- ・第3号議案 第14期(2013年7月～2014年6月)事業計画
- ・第4号議案 第14期(2013年7月～2014年6月)予算計画
- ・第5号議案 役員選任

日時:2013年8月19日(日)19:30～20:30

場所:はまどま(横浜市南区宿町2-40-119)

## 第1号議案 第13期事業報告（2012年7月～2013年6月）

第13期は、定例の自主活動を着実に実施したほか、新たな事業にも取り組むことができた。昨期から始動していた「よこはま里山レンジャーズ」は今期から本格的に動き出し、横浜市から補助金を得られた2012年度中には、6カ所のフィールドに原則3回、各回10名程度の一般参加者（ボランティア）を送り出すことができた。また、3月に開催した活動報告会も好評で、この事業への期待が非常に高いことを認識できた。しかし、2013年度以降は、この事業に関わる人材・費用等の不足から、ニーズには十分に答えられない状況にあり、今後の継続性が課題となっている。定例活動のうち、「NORAの山仕事」「ヨコハマで農業体験」では、近年の森や畑に対する関心の高まりからか、昨期よりも参加者を増やすことができた。活動を継続することでリピーターを増やし、会員の増加へと繋げることが次の課題となっている。「はまどまプロジェクト」では、定例活動を維持することはできたが、収入増加へと繋がっていないので、引き続き「はまどま」を有効に活用していく方法を検討すべきである。その中であって、6月から新たに「はまどまシアター＝民族文化映像研究所の記録映像作品を観る会」を開始できたことは明るい話題であった。広報事業では、ソーシャルメディアでの情報発信は活発だったのに対して、ウェブサイトの更新は滞りがちだったので、これらの広報戦略を練り直す必要がある。受託事業は、自主事業での赤字をカバーできる収益があった。今後も、適当に事業を受託しながら収益構造のバランスを図るとともに、会員の増加に努めたい。

全体的には安定期にあると言えるが、これまで以上に中心的な役割を担うスタッフの減少、関与できる度合いの低下は顕著になっている。昨期の事業報告でも、「持続的な組織運営や事業推進を図るためには、新たな人材を巻き込んでいくことが求められる」と書いたが、この状況は変わっていないどころか、ますます喫緊の課題となっている。2月からは定例ボランティア説明会を始めたが、さらにニーズを捉えるための対外的な広報戦略を検討する必要がある。特に、時代状況を読みながら、今の社会に必要な情報を発信し、活動を実践することを通して、新たなニーズを掘り起こすことも求められよう。

### 自主事業

#### 里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

##### 1. ヤマ事業

##### 1) NORAの山仕事

川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）をフィールドに、「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくとともに、森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかかわる暮らしを横浜で実践する活動をおこなっている。毎月第2・第4日曜日の定例活動日に作業を実施した。

第13期は、間伐した丸太の製材や薪材づくりなどを積極的におこない、間伐材の有効活用に取り組んだ。のべ231名（昨期209名）の参加者があり、平均参加人数は約10名である。また、ボランティアの参加方法を「ガッツリ系」と「和み系」に分けた事により、新たに活動へ参加された人が増え、その中から定例活動メンバーへと定着する人も増えた。

「森づくり団体の製材お助け作業」も、みどりアップ推進課や谷戸矢部公園などから引き続き依頼を受け、製材支援を実施した。

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
7/8（日）	間伐材集積、乱積み丸太薪材加工、製材、小麦畑草刈り	8	1
7/22（日）	午前雨のため午後から集合、風倒木処理	6	1
8/12（日）	小麦畑草刈り、製材（みどりアップ）	10	1

8/26 (日)	風倒木枝処理、製材 (緑アップ)、栗林草刈り、畑集草	10	1
9/9 (日)	間伐材 (風倒木) の運材、乱積み丸太の薪材加工、製材	10	1
9/23 (日)	雨天中止	0	0
10/14 (日)	間伐材の運材 (風倒木)、乱積み丸太玉切り、林床整理	6	1
10/28 (日)	ドングリ拾い (新治)、畑へ定植	4	1
11/11 (日)	下草刈り、間伐、製材、玉切り、薪材運搬、畑の広葉樹枝下し	20	1
11/25 (日)	間伐 8 本、製材 3 本、畑ごはん実施	10	1
12/9 (日)	間伐 10 本、製材支援 6 本	13	1
12/23 (日)	森の散策、うどん打ち、BBQ、バームクーヘン作り、不法投棄 ゴミ回収	10	1
1/13 (日)	シラカシ材の集積、製材支援	8	1
1/27 (日)	フェンス工事間伐材運材、櫻井邸裏のシラカシ萌芽徐伐、ホダ 木運搬	9	1
2/10 (日)	徐伐材の移積、間伐 (8 本)、焼き丸太、シラカシ萌芽徐伐	14	1
2/24 (日)	チップパー支援、運材、間伐、焼き丸太	7	1
3/10 (日)	運材、皮むき、菌駒打ち	11	1
3/24 (日)	製材支援、間伐材玉切り、皮むき、間伐材木工	10	1
4/14 (日)	丸太積み直し、倒木確認、ヤマごはん、運材	9	1
4/28 (日)	林床整理 (入口フェンス付近)、皮むき	10	1
5/12 (日)	林床整理 (間伐材薪規格加工、間伐材積み直し)	8	0
5/26 (日)	植林エリア (BP 沿い) の草刈り、徐伐材の半割り製材、外周 道路沿い草刈り、林床整理	12	1
6/9 (日)	小麦の収穫、ジャガイモの収穫	18	1
6/23 (日)	広葉樹の半割り製材、間伐材の製材、林床整理、植林地草取り	8	1

231

23

## 2) よこはま里山レンジャーズ (平成 24 年度横浜市みどりの夢かなえます事業)

若い世代が市内の民有樹林地の保全活動に参加する支援システムを整備する「森づくり団体の作業お助け整備事業」を「よこはま里山レンジャーズ」プロジェクトとして、認定 NPO 法人自然環境復元協会 (NAREC) と連携しながら実施した。横浜市の「みどりの夢かなえます事業」として採択され、平成 24 年度の期間中は、市内 6 ヶ所の樹林地において、のべ 17 回実施し、153 名 (申込み 171 名) のレンジャーズの参加があった。また、2013 年 3 月 2 日 (土) には、本プロジェクトの総括と今後の活動を検討するための報告会「里山保全の楽しさを若者に伝えるためにーよこはま里山レンジャーズの挑戦」を JFE エンジニアリング(株)シーフォーレで実施し、46 名 (一般 26 名、関係者 20 名) の参加者があった。2013 年 4 月以降は、2014 年 3 月までに 8 回程度実施予定で、第 13 期には 3 回実施した。

本事業は NAREC の「レンジャーズプロジェクト」に登録したレンジャーが、各フィールドからの出動要請に基づいて、フィールド活動に参加するものであり、概ね 10 名単位のレンジャーズで参加するため、初めてのフィールドでも参加しやすいという長所がある。実際の活動では、ほぼ着実に 10 名程度の参加者があり、参加者の年代は 20 代から 30 代が主体であった。一方で、活動をとおして団体に定着したレンジャーは全体でも 3 名にとどまり、参加者にフォールドの魅力を伝えていく必要性も感じられた。また、レンジャーズに関わる情報については NAREC が一括管理しているが、今後、どのようにして

派遣事業を継続していくか、資金面も含めて課題が残されている。

	実施日	実施場所	申込み	参加人数	スタッフ
①	9/15 (土)	桜ヶ丘緑地(1)	12	10	3
②	9/22 (日)	カーリットの森(1)	5	5	2
	9/23 (土)	恩田の谷戸 ※雨天中止			
③	10/13 (土)	JFE エンジニアリング(1)	11	8	4
④	10/14 (日)	恩田の谷戸(1)	10	8	2
⑤	10/21 (日)	荒井沢民有樹林地(1)	4	4	3
⑥	10/28 (日)	恩田の谷戸(2)	8	6	3
⑦	11/11 (日)	川井緑地(1)	8	8	3
	11/17 (土)	桜ヶ丘緑地(1) ※雨天中止			
⑧	11/18 (日)	恩田の谷戸(3)	9	8	2
⑨	11/25 (日)	カーリットの森(2)	13	12	2
⑩	12/ 2 (日)	荒井沢民有樹林地(2)	11	11	3
⑪	12/ 8 (土)	JFE エンジニアリング(2)	9	6	2
	12/ 9 (日)	川井緑地 ※現地都合により中止			
	12/15 (土)	桜ヶ丘緑地 ※雨天中止			
⑫	1/19 (土)	桜ヶ丘緑地(2)	18	17	2
⑬	1/27 (日)	川井緑地(2)	5	3	1
⑭	2/3 (日)	荒井沢民有樹林地(3)	12	12	3
⑮	2/9 (土)	JFE エンジニアリング(3)	11	11	5
⑯	2/10 (日)	川井緑地(3)	10	9	2
⑰	2/24 (日)	カーリットの森(3)	15	15	3
		小計	171	153	45
	5/4 (土)	川井農地	15	13	2
	5/18 (土)	新治(谷戸田)	10	7	2
	6/9 (日)	川井農地	9	9	2
		小計	34	29	6
		合計	205	182	51

### 3) 竹を活かす山仕事 (平成 25 年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)

手入れが行き届かなくなった竹林は拡大して、農耕地や生活環境を侵食するなど、里山の景観に大きな影響を及ぼしている。竹林を手入れすることで畑を守り、里山生態系のバランスを保つために、原則月 1 回、中井町でお世話になっている農家の竹林を整備した。2013 年 4 月より、「神奈川県水源環境保全・再生市民事業」として事業を実施している (8 月～10 月は酷暑のため、11 月は日程を調整できずに中止した)。伐出した竹材は、竹細工の製作や竹かご教室の材料として活用した。第 13 期は各月ごとの新規申し込みがある中、参加メンバーの安定化が見られ、のべ 26 名 (昨期 21 名) の参加者があった。

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
7/29 (日)	間伐、材の伐り出し	3	1
12/16 (日)	材(支柱・収穫籠用)の伐り出し、間伐	2	1
1/20 (日)	材の伐り出し、間伐	3	1
2/17 (日)	間伐、教室用資材伐り出し	3	1
3/17 (日)	間伐、材の伐り出し	4	1
4/29 (月祝)	間伐、材の伐り出し	4	1

5/19 (日)	間伐、材の伐り出し	2	1
6/16 (日)	材の伐り出し (午前中雨)	5	1
		26	8

#### 4) 山道具の安全使用

株式会社シンコー社とサブ店契約を結んで (2011 年 6 月)、チェーンソーメーカー (スチール STIHL) の代理店業務を担い、より安全性を高めた緑地保全活動の啓発をすすめている。第 13 期の実績として、複数の団体や個人へチェーンソーおよび消耗品類を販売した。

#### 5) 『ミルマップ・ワークショップ!～みんなで描く森づくりプラン』の普及・頒布

横浜市が 3 月末に『森づくりガイドライン』を改訂・発行し、その中に本冊子が紹介されていること、また、すでに在庫が残り少なくなっていることから、増刷する方法を検討した。

## 2. ノラ事業

### 1) 休耕地再生で農体験

「ヨコハマで農業体験」でお世話になっている生産者と「農地維持管理契約書」を結び、旭区下川井町にある農地 7 反を管理している。また、この事業への協賛者を募り、管理している農地で野菜の育成や収穫も継続的に実施した。この農地は、「NORA の山仕事」で伐出された間伐材を有効活用する場ともなっている。第 13 期は、原則、毎週月・水・金曜日に実施し、収穫体験の受入等のべ 237 名の参加者があった。また、収穫体験と畑での食事を楽しみたいというニーズに応じて、1 日 1 組限定 (5 名以上) の予約制で「メシませ! 畑ごはん」も継続して実施した。さらに、横浜建物管理協同組合の体験も継続して受け入れた。

実施月	のべ日数	活動内容	参加人数	スタッフ
7 月	9 日	夏野菜の収穫および管理作業、草刈り、	39	9
8 月	15 日	夏野菜の収穫および管理作業、草刈り、冬野菜準備	11	15
9 月	12 日	夏野菜の収穫および管理作業、草刈り、冬野菜準備	31	12
10 月	14 日	冬野菜準備、夏野菜の片付け、栗拾い体験受入	38	14
11 月	13 日	冬野菜の収穫および管理、芋掘り体験受入	6	13
12 月	12 日	冬野菜の収穫および管理、小麦の種蒔	5	12
1 月	10 日	冬野菜の収穫および管理、春野菜準備	9	10
2 月	11 日	春野菜管理、栗の木剪定	11	11
3 月	11 日	春野菜の収穫および管理、椎茸の菌駒打ち実施	17	11
4 月	11 日	春野菜の収穫および管理、草刈、栗の木移植など	26	11
5 月	14 日	春野菜の収穫、夏野菜の定植準備、草刈り	21	14
6 月	13 日	夏野菜の管理および収穫、草刈り、春野菜の片付け	23	13

237 145

### 2) ヨコハマで農業体験

横浜市保土ヶ谷区で、土づくりから品種や鮮度にもこだわって野菜を生産している生産者の農作業をお手伝いした。第 13 期は原則第 3 土曜日に実施した。のべ 42 名 (昨期のべ 18 名) の方の参加者があったが、リピーターの定着が課題として残った。

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
7/21 (土)	里芋草取り、小麦とうみ掛け	1	1
8/18 (土)	雨のため、午前中で解散	2	1
9/15 (土)	じゃがいも畑草取り (畝作り準備)、	3	1
10/20 (土)	じゃがいも芽かき、さつま芋堀、かぶの間引き (川井農地にて)	13	1
11/17 (土)	※参加者なしのため中止	0	0
12/15 (土)	雨のため、現場見学のみ	1	1
1/19 (土)	寒冷遮土寄せ、苗の雪かき、かぶ間引き	2	1
2/16 (土)	白菜収穫後の片付け、大根収穫後の片付け、タラの芽苗作り	1	1
3/16 (土)	ブロッコリ片付け、草取り、冬ネギ収穫	7	1
4/20 (土)	ブロッコリ畑の草取り	8	1
5/5 (土)	とうもろこし畑草取り、トマト苗結束	3	1
6/15 (土)	じゃがいもの収穫	1	1
		42	11

### 3) NORAの野良仕事

農作業を通して、自然と暮らす知恵や技や考え方を学び・身につけるとともに、いずれは自分たちの手で野良仕事の場を、身近に野良のある日常を創ることを目指すプロジェクト。第13期は、スタッフ自身及び農家さんの都合がうまく合わず計2回の開催となったが、「NORA 野菜市」等に野菜を提供してくださる神奈川県内の農家を訪ね、農作業をおこなった。

実施日	場 所	内 容	参加人数	スタッフ
9/1 (土)	柏木さんの農園 (小田原市下曾我)	みかんの摘果	0	3
11/17 (土)	農家さんの都合で中止	-	-	-
5/18 (土)	柏木さんの農園 (小田原市下曾我)	キウイフルーツ受粉	1	2
			1	5

## 持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

### 3. ムラ事業

#### 1) はまどまプロジェクト

「はまどま」発足後、2013年6月で丸5年が経過した。第13期は、「竹細工教室」「神奈川県野菜の食事会」「筆で描く」「お話の会～はまどま劇場～」に加えて「はまどまシアター＝民族文化映像研究所の記録映像作品を観る会」を始めることができた。神奈川県野菜の食事会は78回を重ねたが、今後は、らっきょう漬け作業・味噌づくり作業など、土間仕事の企画との組み合わせや、食材にテーマを持った食事会などの展開を模索している。町内会活動も、広報部への参加(勝野)など結びつきが強まっている。

本プロジェクトに関しては、運営委員の減少から、はまどま運営委員会を解消して運営連絡協議会の中で管理運営について議論していくことになった。しかし、「はまどま」をきっかけにした新たな出会いが次々とあり、仲間の輪が広がっているほか、「はまどま」に参加して下さる方を中心にメーリングリスト(domanakama)を立ち上げるなど交流密度を高めているので、その中から、はまどまプロジェク

トへの参加など、主体的に活動を推進してくれる人が現れることを願っている。

### (1) NORA 野菜市

毎週火曜日 17 時～19 時 大和ビル駐車場にて神奈川県内産・生産者限定の野菜市を開催した。身近な交流のできる生産者からの野菜市。野菜市は、地域の人々の暮らしに定着しており、若い世代の利用が増えている。地域の皆さんのコミュニケーションの場としても活かされている。ボランティアスタッフなど販売応援・体験も 5 名以上が数回に渡って参加して下さった。

### (2) Marc 朝市

イタリアンレストラン「Marc」(マール)店頭で、2008 年 12 月から、毎月第 3 土曜日に開催してきたが、2012 年 12 月をもって終了した。雨天により実質的には 10 月が最終となった(なお、2013 年 5 月に「Marc」は閉店。地域での協力・共同の拠点として、地場農産物の普及・紹介のネットワークとしても大切なパートナーだった。いずれ場所をかえて再開を目指すということなので、ご活躍を祈ります)。

### (3) 神奈川野菜の食事会

会員および会員の紹介者が交流・学習する場として毎月開催し、加えて、ホームページを始め、フェイスブックやツイッター、町内会回覧板などでも広報することにした。山仕事・畑仕事に参加していた非会員が参加しやすくなるなど、新たな輪を広げることにつながったが、いわゆる一般からの参加はない。営業活動ではないので、やはりお誘いし、繋がりを広げて参加者を増やすことになるのかもしれない。参加費も改訂し、会員 1,000 円・非会員 1,500 円とした。ただし、小学生 500 円は共通。夫婦などファミリーは、会員家族として 1,000 円とした。2013 年 6 月で 78 回となった。開催日の定例化が不可能になった。状況により柔軟に開催する方向になっている。第 13 期は、のべ 195 人(昨期 197 名)の参加者があった。

実施日	回	内容	参加人数
7/12 (木)	68	夏野菜たっぷり・とうもろこし御飯	20
8/02 (木)	69	第 4 回流しそうめん	28
9/08 (土)	70	筒香のお米・茄子料理・味噌汁二種類	13
10/06 (土)	71	筒香のお米でサツマイモ御飯・野菜天	8
11/12 (月)	72	キャベツ好評・ほうれん草サラダ好評・	11
12/03 (月)	73	大根フライ・大根もち・柿フライ・	12
1/19 (土)	74	野菜スープ、はまどま味噌・やーこん	18
2/16 (土)	75	炊き込みご飯・蒸し野菜・カボチャスープ	25
3/11 (月)	76	ふき味噌・	14
4/20 (土)	77	タケノコご飯・野菜コロッケ・らっきよ漬	14
4/28 (日)		番外・味噌作りと大豆尽くしの御飯会	12
5/18 (土)	78	トマト・空豆・玉ねぎ	7
6/23 (日)	79	らっきょう漬けと食事会・摘果実メロン	13

195

### (4) もったいないから竹細工 (平成 25 年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)

里山では手入れされなくなった竹林が生い茂って、邪魔物として扱われている。かつては有用だった

竹を生かせないのはもったいない。そこで、竹林を整備するときに出てくる竹材を有効に生かすために、竹細工に挑戦している。竹の廃材を竹ひごに加工し、編み方を六つ目編みに特化して、花器や籠など様々な作品作りに取り組んでいる。第13期は、原則、第2土曜日に講師を招いて竹細工教室を（2013年1月より、講師の体調不良のため、竹かご教室で使用する材料は、運営メンバーが製作を担っている）、第4土曜日に自主的な竹細工作業（8月～11月は畑仕事のため中止）をおこなった。竹細工教室のべ49名（昨期75名）／竹細工作業のべ21名（昨期27名）と合計70名（昨期102名）の参加者があった。

#### 【竹細工教室】

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
7/14（土）	六つ目籠など	9	2
8/11（土）	講師の都合で中止	0	0
9/22（土）	四海波籠、笠の葉	8	2
10/13（土）	笠の葉かご、六つ目籠づくり	7	2
11/10（土）	笠の葉籠、四海波籠、づくり	3	2
12/8（土）	収穫籠（大）、六つ目花かご一輪挿し、四海波籠	3	2
1/26（土）	講師体調不良のため、新規のみ実施	5	0
2/9（土）	四海波、六つ目かご	2	2
3/23（土）	六つ目かご、麻の葉かご仕上	2	2
4/13（土）	六つ目花口かご、四海波	5	2
5/12（木）	菱四つ目、四海波	2	2
6/9（土）	四海波、ヒゴ作り	2	2
		48	20

#### 【竹細工作業】

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
7/28（土）	ヒゴ作り	3	1
12/22（土）	収穫籠用ひご作り、風ぐるま用ヒゴ作り	2	1
1/12（土）	竹ひごづくり、籠編み	2	1
2/23（土）	ヒゴ作り	2	1
3/30（土）	レインステックWS準備、ヒゴ作り、風ぐるま作り体験	3	1
4/27（土）	ひご作り、風ぐるま	4	1
5/25（土）	竹ひご作り、風ぐるまWS	2	1
6/29（土）	ヒゴ作り	2	1
		21	8

#### (5) 筆で描こう～手書きの時間

13期の開催数は9回（昨期4回）だった。今期は告知ツールとしてNORAのブログ、メルマガと共に個人のブログも使用。それにより参加者も19名（昨期6名）と増加した。また、粕谷恵さんとの「お香」の講座とのコラボも人数増員の助けとなった。とはいえ、更なる参加者を募ること、「はまどま」に行くと今までとは違う仲間に出会える、違う文化に触れられるなど、ただの「描く」だけの時間ではな

いものを、次期も目指したい。

実施日	内 容	参加人数	スタッフ
7/26 (金)	額に入れる文字を描く～名前編	1	1
11/11 (日)	古代文字で名前を描く	2	1
12/15 (土)	【お香とコラボ】巳の文字を描く	3	1
1/13 (日)	和紙を染めて。色と文字を味わう	3	1
2/9 (土)	【自由課題】メニューや名前に古代文字	4	1
3/24 (日)	和紙を染めて。色と文字を味わう	2	1
4/13 (水)	プレゼントする文字を描く	1	1
5/22 (水)	額に入れる文字を描く～名前編	2	1
6/29 (日)	小さな額に文字を描く	1	1

19 9

#### (6)お話の会～はまどま劇場～

2011年5月29日に「朗読の夕べ」第1回として開始した。それ以前に、食事会の中で、「はまどま一座」として朗読や朗読劇のような催しを聴いていただいた時期もある。短い準備期間で開催する困難さと、一方で現実には、とにもかくにも開催することも大切になってくる。苦しいからと開かなければ、そのままになってしまいかねない。朗読は、主に宮沢賢治を中心に、民話・昔話。大人向けに「紙芝居」を演じることもある。また、郷静子さんの『れくいえむ』の全編朗読・一挙朗読をおこなった。政治への無関心を装う傾向がますます強まり、戦争への足音を強く感じるからである。手遅れになる前に、やれることをしなければならない。13期は10回開催し42名の参加があった(昨期11回110名)。

実施日	参加人数
7/22(日)	4
8/25(土)	5
9/29(土)	8
10/21(日)	2
11/25(日)	4
12/9(日)	3
3/3(日)	5
5/12(日)	5
6/30(日)	4
7/14(日)	1

42

#### (7) はまどまシアター

「はまどま」の活用のひとつとして、映画上映会は、当初から可能性があると考えていた。それが、具体的な目標になったのは、かねてより情報交流があった民族文化映像研究所(民映研)の100を超える作品群を、NORA「はまどま」に集う皆さんと共有したい、という強い欲求が生まれてきたからだ。もちろん、上映会を行うことで新たな出会いも期待できるし、民映研事務局とは京浜急行で結ばれている立地条件からも、単に映像鑑賞にとどまらず、交流を図りながら活動を進めていければと思う。

実施日	内 容	参加人数	スタッフ
6/15 (土)	1回「新編・粥川風土記」	8	1

#### (8) 地域連携・その他

下記のとおり、地域連携活動に参加・応援した。

- ・「大岡川アートプロジェクト」実行委員会に参加し、12/15 (土) -16 (日) スタッフとして参加した。
- ・ソフトボール大会の応援に参加し、宮宿花1・2丁目町内会が優勝を飾った。
- ・町内会広報委員会に参加し、ブログ立ち上げを支援した。
- ・蒔田公園「ふれあいパーク祭り」竹細工ほかに参加した (4/7 (日) 強風延期、6/2 (日) 開催)
- ・8/26 (日)、浦舟納涼祭りに参加した。

### 4. ハレ事業

#### 1) 伊勢佐木町地モノ市

2012年11月4日(日)「第12回あなたとともにエコロジー伊勢佐木」に参加するかたちで、エコ商店街・伊勢佐木町商店街の全面的なバックアップを得て「地モノ市」を開催した。前日準備に6名、当日スタッフに13名のボランティアの参加があった。

近年、NORA会員の参加は少なく、非会員で食事会などに参加する皆さん、ホームページなどのボランティア募集を見て参加される方が多く参加されている。2011年と連続参加の方が再会を喜んだり、初参加の方がその後の活動に参加されて入会したりするなど、約10年近い継続の中で様子も変わってきている。神奈川農畜産物供給センターに参加を要請してスタッフ1名が参加した。

この「地モノ市」は、生産者が直接販売する「ファーマーズマーケット」ではない。つまり、生産者自ら販売することが当たり前とする風潮に異を唱えるものである。暮らしの中で作物を利用している者が、生産者と直接的に交流関係を築き、たとえば生産者が「神奈川野菜の食事会」に参加したり、利用者が収穫作業などの応援にでかけたり、そうした人間関係を育みながら、さらに地域に“普及”するための場が「地モノ市」でありたい。作物の販売を通して、そのような考え方も伝えていきたい。

#### 2) まいたエコサロンの会

当初、「まいたエコサロン」スペースの共同利用・運用+秋祭りだったが、現在は、大岡川アートプロジェクト実行委員会、蒔田公園愛護会、町内会(宮宿花一、二丁目)が加わり、定例会には日枝小学校放課後キッズクラブも参加しており、地域の環境活動拠点として動き始めている。会則に会費規定ができ、年会費は3,000円となったが、あらためて入会して地域との関係を継続している。

### 里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

#### 5. イキモノ事業

##### 1) 旬の里山探訪

NPO 法人新治里山「わ」を広げる会が「にいほる里山交流センター」で実施しているイベントへ協力する形でおこなっている。2013年3月からは、テーマを設けて募集をすることになった。リピーターも増え、平均10数人、のべ106名(昨期29名)で楽しく散策できるようになっている(8月、1月はお休み)。

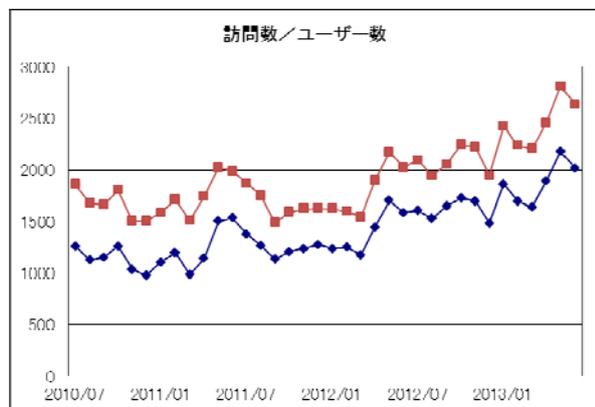
実施日	内 容	参加人数	スタッフ
7/4 (水)	市民の森散策	9	2

9/5 (水)	初秋の植物観察	10	2
10/3 (水)	※雨天中止		
11/7 (水)	木の実草の実	21	2
12/5 (水)	晩秋の谷戸	16	2
2/6 (水)	※積雪中止		
3/6 (水)	春の七草さがし	15	2
4/3 (水)	※雨天中止		
5/1 (水)	雑木林の植物	19	2
6/5 (水)	谷戸を楽しむ	16	2
合 計 (7回実施)		106	14

## 6. 広報事業

### 1) ウェブサイトの更新

第 13 期は、レイアウトに大きな変更をおこなわず、従来通り、各プロジェクトの告知、報告のブログ記事アップなどの情報発信を定期的におこなった。多くの会員が更新作業に参加しているが、かなり更新頻度は落ちているので、イベントの参加者を巻き込むなどの工夫が求められる。また、レイアウトの変更も必要な時期に差し掛かっている。それでも、メディアへの露出やソーシャルメディアとの連携が影響したのか、訪問数は月平均 2271 (昨期 1732)、閲覧頁数 7316 (昨期 5655) と共に約 30%増加した。くわえて、林業関係広報コンクール of HP 部門で最優秀賞を受賞できたのは喜びであった。



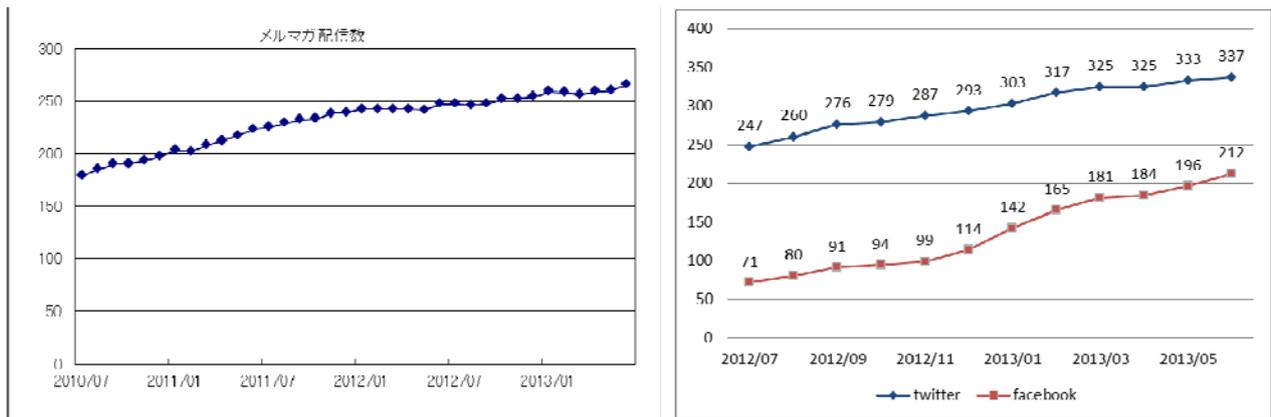
### 2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」第 50～61 号を原則毎月 1 日に配信したほか、号外 (8/19)

を1回配信した。第50号から新コーナー「NORAの仲間たち」を設け、関係の深い団体の紹介に努めてきた。会員には会員メーリングリスト経由で、事務局が把握している会友・関係者（529→708→852→1,001、各年6月現在）には直接メールで配信している。また、メルマガ発行サービス「まぐまぐ！」でも配信しているが、読者数は頭打ちとなっている（179→223→247→265、各年6月現在）。

### 3) ソーシャルメディアによる情報発信

twitterを利用して柔軟に迅速に情報を発信し、フォロワーも増加した（240→337、各年6月現在）。あわせてfacebookでの情報発信にも努め、「いいね！」の数を順調に増やした（63→212、各年6月現在）。その反面、サイトの更新が疎かになったので、両者の使い分けについて要検討である。



## 協働・受託事業

### 里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

#### 1) にいはる里山交流センター展示実施設計業務委託（横浜市環境創造局みどりアップ推進課）

〈2012年8月-2012年10月〉

新治里山公園・にいはる里山交流センターは、利用者に地域の自然情報等を発信する北の森地区（中核は新治・三保）ウェルカムセンターとして位置付けられている。本委託は園内施設（管理事務所、つどいの家）の展示作成に当たり、内容を検討し版下作成を行うとともに展示物の仕様について実施設計を行った。つどいの家には、二十四節気ごとの里山の仕事や生きもの・行事を紹介、管理事務所ではホワイトボードにタイムリーな情報を書き込めるようなマップを製作した。NORAびと総動員の仕事でした。

#### 2) 森づくりリーダー研修業務委託（横浜市環境創造局みどりアップ推進課）

〈2013年1月-2013年3月〉

2013年2月9日-10日の2日間。森づくりボランティア登録団体向けに、「英国TCV“Standards Leader Training Program”をもとにした森づくりリーダー研修」として、九州からNPO法人日本環境保全ボランティアネットワーク（JCVN）のメンバーを講師として招き開催。ワークショップ方式を取り入れながら、作業リーダーとして必要な取り組み等について多角的な視点で学んだ。

横浜周辺の森づくり系知人に声をかけ、懇親会も実施。

#### 3) 根岸小学校学校ビオトープづくり支援（横浜市環境創造局政策調整部政策課）

〈2012年6月-2013年3月〉

横浜市立根岸小学校において、既存のとんぼ池の再生計画づくりを行った。

計画づくりには4年生、5年生が参加し、総合の時間を活用した計画が完成した。  
学校の主体性があまり感じられず、実際に池が完成したかは、未確認である。

#### 4) 桜ヶ丘緑地における保全管理計画づくり (桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト)

保土ヶ谷区桜ヶ丘緑地の保全管理計画づくりのワークショップとゾーニング図の作成。最終仕上げができておらず、時間が経過しすぎたので見直しが必要。

#### 5) 里山ガイドブック制作 (有隣堂)

有隣堂が直営で企画している「かながわ里山ガイドブック」について、原稿書きの進行中。編集者が間に入っていたが、中身のレベルで折り合わず、章立ての変更、編集者が書いていたものの手直しを行っている。

#### 6) そのほか

横浜市の生物多様性普及キャンペーン「ヨコハマbフェスティバル」(2012年10月1日～11月30日)の企画に参加。10月27日に開催された「ヨコハマbディ」(主催:CEPA ジャパン)に協力。

### **委員・講師派遣等**

#### 1) 委員

○吉武美保子

- ・神奈川県環境農政局公共事業評価委員会
- ・神奈川県里地里山専門委員会
- ・神奈川県立旭高校評議員
- ・横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会 (横浜・ひと・まち・デザイン賞地域まちづくり部門)

○松村正治

- ・神奈川県ボランティア活動推進基金幹事会
- ・横浜市市民活動推進検討委員会→横浜市市民協働推進委員会

#### 2) 講師・執筆

○吉武美保子

11/22 (木) 里地里山活動団体意見交換会コーディネーター (神奈川県農地保全課)

1/13 (日) 「進化する市民活動～共生の森の未来に向けて～」フォーラム

(主催: NPO 法人共生の森、NPO 法人大阪府民環境会議)

2/23 (土) 神奈川県里地里山シンポジウム パネリスト (神奈川県農地保全課)

3/10 (日) 瀬上さとやまもりの会 総会 記念講演

○松村正治

- ・12/12 (水) 「プロのNPOをつくるための10の講義」(横浜市市民活動支援センター)の第3回「資金調達をデザインする」で話題提供
- ・12/22 (土) 明大黒川農場にて「里山入門」ゲスト講師
- ・『animato』(横浜市市民活動支援センター、2013年3月)に「マネジメント時代に問われるNPOの存在理由」を寄稿
- ・2/24 (日) 「環境保全団体・市民の交流イベント」(調布市)で講演講演「里山をモデルに多様な人々

が集う場を」

- ・5/8（水）第1回森ライミーティング（NPO 法人森のライフスタイル研究所）で話題提供
- ・宮内泰介編『なぜ環境保全部はうまくいかないのか』（新泉社。2013年2月）に論考「環境統治性の進化に応じた公共性の転換へー横浜市内の里山ガバナンスの同時代史から」所収

### 3) そのほか

[取材・広報]

- ・「平勤休農のすすめ」プロジェクト（都市生活者の農力向上委員会）で「りかるち」系団体として紹介された。
- ・11/16（金）放送、FM横浜「Yokohama Social Café」にて活動を紹介した。
- ・第47回（平成24年度）林業関係広報コンクール（一般社団法人全国林業改良普及協会）のHP部門で最優秀賞を受賞した（応募総数、広報部門13点、HP部門14点）。
- ・5/28（火）、『元春レイディオ・ショー』のコーナー“Green People”でNORAからのメッセージが放送された。
- ・『環境と正義』（日本環境法律家連盟）2013年6月号にNORAの紹介文が掲載された。
- ・『いなか暮らしの本』（宝島社）2013年7月号の「人気の首都圏「トカイナカ」ガイド」に紹介された。

## 活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人よこはま里山研究所

自 2012年 7月 1日 至 2013年 6月 30日

<b>【経常収益】</b>			
<b>【受取会費】</b>			
運営会員受取会費	168,000		
一般会員受取会費	114,000		
賛助会員受取会費	60,000		
<b>【受取寄付金】</b>			
受取寄付金	781,685		
<b>【受取助成金等】</b>			
受取助成金	1,969,222		
<b>【事業収益】</b>			
事業収益	687,065		
販売事業収益	7,060		
受託事業収益	1,827,000		
<b>【その他収益】</b>			
受取利息	1,141		
雑収益	125,195		
経常収益計	125,195		5,740,368
<b>【経常費用】</b>			
<b>【事業費】</b>			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
業務委託費(事業)	1,009,200		
諸謝金(事業)	1,817,141		
印刷製本費(事業)	51,600		
旅費交通費(事業)	2,620		
通信運搬費(事業)	118,208		
消耗品費(事業)	447,902		
修繕費(事業)	21,000		
水道光熱費(事業)	111,289		
地代家賃(事業)	945,700		
賃借料(事業)	4,200		
減価償却費(事業)	217,535		
保険料(事業)	114,268		
諸会費(事業)	5,400		
調査研究費(事業)	2,000		
支払手数料(事業)	13,660		
広告宣伝費(事業)	15,750		
販売仕入(事業)	19,751		
雑費(事業)	38,065		
その他経費計	4,955,289		
事業費計	4,955,289		4,955,289
<b>【管理費】</b>			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
通信運搬費	1,590		
消耗品費	28,300		
諸会費	10,000		
租税公課	220		
支払手数料	172,735		
雑費	801		
その他経費計	213,646		
管理費計	213,646		213,646
経常費用計	5,168,935		5,168,935
当期経常増減額	571,433		571,433

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人よこはま里山研究所

自 2012年 7月 1日 至 2013年 6月30日

【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
固定資産除却損	21,621	
経常外費用 計		21,621
税引前当期正味財産増減額		549,812
法人税、住民税及び事業税		70,000
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		479,812
前期繰越正味財産額		6,941,873
次期繰越正味財産額		7,421,685

## 事業費の内訳（別紙）

特定非営利活動法人よこはま里山研究所

2013年 6月30日 現在

(1/2)

[税込] (単位: 円)

科目	事務局	広報	ヤマ	ノラ	ムラ
(人件費)					
人件費計	0	0	0	0	0
(その他経費)					
業務委託費(事業)			446,800		
諸謝金(事業)			860,000		
印刷製本費(事業)			51,600		
旅費交通費(事業)			300		
通信運搬費(事業)		22,509	2,020		93,139
消耗品費(事業)			422,902	688	20,525
修繕費(事業)					21,000
水道光熱費(事業)					111,289
地代家賃(事業)					945,700
賃借料(事業)			4,200		
減価償却費(事業)			217,535		
保険料(事業)			77,268		37,000
諸会費(事業)					5,400
調査研究費(事業)					2,000
支払手数料(事業)		420	7,255		105
広告宣伝費(事業)		15,750			
販売仕入(事業)			19,751		
雑費(事業)				1,365	4,700
その他経費計	0	38,679	2,109,631	2,053	1,240,858
合計	0	38,679	2,109,631	2,053	1,240,858

(2/2)

[税込] (単位: 円)

科目	ハレ	イキモノ	受託	合計
(人件費)				
人件費計	0	0	0	0
(その他経費)				
業務委託費(事業)			562,400	1,009,200
諸謝金(事業)			957,141	1,817,141
印刷製本費(事業)				51,600
旅費交通費(事業)			2,320	2,620
通信運搬費(事業)			540	118,208
消耗品費(事業)			3,787	447,902
修繕費(事業)				21,000
水道光熱費(事業)				111,289
地代家賃(事業)				945,700
賃借料(事業)				4,200
減価償却費(事業)				217,535
保険料(事業)				114,268
諸会費(事業)				5,400
調査研究費(事業)				2,000
支払手数料(事業)			5,880	13,660
広告宣伝費(事業)				15,750
販売仕入(事業)				19,751
雑費(事業)			32,000	38,065
その他経費計	0	0	1,564,068	4,955,289
合計	0	0	1,564,068	4,955,289

## 貸借対照表

特定非営利活動法人よこはま里山研究所  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
2013年 6月30日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		納税充当金	70,000
小口 現金	184,791	流動負債 計	70,000
普通 預金	6,435,100	<b>負債の部合計</b>	<b>70,000</b>
現金・預金 計	6,619,891	<b>正 味 財 産 の 部</b>	
(その他流動資産)		<b>【正味財産】</b>	
前払 費用	78,750	前期繰越正味財産額	6,941,873
その他流動資産 計	78,750	当期正味財産増減額	479,812
流動資産合計	6,698,641	正味財産 計	7,421,685
<b>【固定資産】</b>		<b>正味財産の部合計</b>	<b>7,421,685</b>
(有形固定資産)			
機械及び装置	477,464		
有形固定資産 計	477,464		
(無形固定資産)			
電話加入権	89,880		
無形固定資産 計	89,880		
(投資その他の資産)			
敷 金	225,700		
投資その他の資産 計	225,700		
固定資産合計	793,044		
<b>資産の部合計</b>	<b>7,491,685</b>	<b>負債・正味財産の部合計</b>	<b>7,491,685</b>

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人よこはま里山研究所  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
2013年 6月30日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

小口 現金		184,791
小口現金 (吉武)		(56,851)
小口現金 (山仕事)		(77,637)
小口現金 (はまどま)		(8,650)
小口現金 (野良仕事)		(19,120)
小口現金 (本部)		(22,533)
普通 預金		6,435,100
横浜銀行本郷台支店 (本部)		(2,720,092)
横浜銀行上大岡支店 (吉武)		(233,184)
横浜銀行阪東橋支店 (山仕事)		(1,160,418)
横浜銀行阪東橋支店 (島村)		(719,910)
ゆうちょ銀行宿町 (はまどま)		(616,122)
ゆうちょ銀行振替		(985,374)
現金・預金 計		6,619,891

(その他流動資産)

前払 費用		78,750
その他流動資産 計		78,750
流動資産合計		6,698,641

### 【固定資産】

(有形固定資産)

機械及び装置		477,464
有形固定資産 計		477,464

(無形固定資産)

電話加入権		89,880
無形固定資産 計		89,880

(投資その他の資産)

敷 金		225,700
投資その他の資産 計		225,700

固定資産合計

資産の部 合計

793,044

7,491,685

## 《負債の部》

### 【流動負債】

納税充当金

		70,000
流動負債 計		70,000

負債の部 合計

70,000

70,000

正味財産

7,421,685

### 第3号議案 第14期事業計画（2013年7月～2014年6月）

第14期は、自主事業の定例活動を着実に実施して、前期から堅調な「NORAの山仕事」「ヨコハマで農業体験」などから、新たな人材が活躍する場を設け、活動の展開を図っていく。「はまどま」では、懸案となっている有効活用の方策を探り、場の持っている可能性を引き出すことで、財政的に自立できる運営を目指していく。また、環境、里山、地産地消、NPOといった言葉が広く社会に受け入れられるようになった社会状況を考慮し、これまでとは違うアプローチで「里山とかかわる暮らしを」伝えていく。全体として、事業運営に関わる中心的なメンバーが固定化してきているので、従来の枠組みにとらわれない発想で積極的に会員・参加者を巻き込みながら、会員の拡大に向けた努力を継続していく。受託事業については、組織内の資源と社会からのニーズを勘案しながら、適宜、外部との連携も図りながら進めていく。一方で、NORAを受託事業の受け皿として、会員が生かしやすいように環境整備も進めていく。

#### 自主事業

##### 1. ヤマ事業

1) NORAの山仕事 {別紙計画書のとおり}

2) 竹を活かす山仕事 {別紙計画書のとおり}

3) よこはま里山レンジャーズプロジェクト {別紙計画書のとおり}

##### 4) 山道具の安全使用

山道具の安全使用を推進するため、信頼性のある動力工具や消耗品等の販売するほか、安全な伐倒実技講習を開催するなど、より安全性を高めた緑地保全活動の啓発を推進する。

##### 5) ミルマップ・ワークショップ

『ミルマップ・ワークショップ！～みんなで描く森づくりプラン』を増刷し、考え方の普及を目指す。

##### 2. ノラ事業

1) 休耕地再生で農体験 {別紙計画書のとおり}

2) ヨコハマで農業体験 {別紙計画書のとおり}

3) NORAの野良仕事 {別紙計画書のとおり}

##### 3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト {別紙計画書のとおり}

(1) NORA野菜市

(2) 神奈川県野菜の食事会

(3) もったいないから竹細工

(4) お話の会～はまどま劇場～

(5) はまどまシアター

(6) 筆で描こう～手書きの時間

##### 4. ハレ事業

1) 伊勢佐木町地モノ市 {別紙計画書のとおり}

##### 2) まいたエコサロンの会

まいたエコサロンの会の一員として、適宜、ネットワーク活動に協力する。

##### 3) NORAサロン、NORAセミナー

7/15（月祝）、「私たちが選ぶTPPと社会のゆくえー岩上安身さんを迎えて」を、神奈川県民活動サポートセンターの会議室で開催する。このほか、時機を見て、NORAサロン、NORAセミナーを開催する。

##### 5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪 {別紙計画書のとおり}

##### 6. 広報事業

##### 1) ウェブサイトの更新

twitter・facebookとの連携を進めるほか、ブログ記事・情報の更新頻度を上げ、より効果のある広報媒体を目指す。記事の掲載については、一部の会員に負担が集中しないよう役割分担を進める。

##### 2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

ウェブサイトと連携しながら、月に1回以上定期的に配信して、効果的に情報を発信する。

##### 3) ソーシャルメディアによる情報発信

twitter・facebookを利用して、柔軟に迅速に情報を発信する。

#### 協働・受託事業

そのほか、適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。

#### 委員・講師派遣

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。ボランティア体験、インターンシップの受入は、可能な限り引き受ける。

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	NORAの山仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ	川井緑地森づくりプロジェクトメンバー		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくる</li> <li>森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかがわる暮らしを横浜で実践する</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市所有地での徐伐・間伐作業、私有地での維持管理作業の実施</li> <li>市所有地内に、新たな活動ベースを設置できるように作業を計画的に進める</li> <li>植樹活動の拡充</li> <li>間伐材の有効活用を図り、活動の幅を広げる</li> <li>活動に関わるスタッフ・メンバーのスキルアップ</li> <li>新規参加者の継続的参加を誘致</li> <li>間伐材の有効利用を図るため、市内他緑地の製材を指導する</li> <li>動力工具の安全な使用を心掛ける</li> </ul>		
内容	常緑樹の除伐や下草刈、落葉樹苗の育苗から定植など、豊かな森づくりを目標に作業を行っている。除伐した材を有効活用するために、丸太を製材しスツールなどの木工品を製作したり、薪などにも利用している。		
日時	毎月第2・第4日曜日 10:00～15:00		
場所	旭区下川井町 特別緑地保全地区		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	10:00 県立旭高校 校舎横物置前に集合 ミーティングを行い作業内容、使用する道具を決める 10:30 現場にて作業開始 12:00 昼食 13:00 作業開始 15:00 作業終了 物置前にて道具の整備、活動の振り返りと予定を確認 16:00 解散		
一般募集の有無	有：人数未定（NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集）		
参加費の有無	有：グリーンボランティア保険加入料として @500円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	活動協賛金 90,000円(@500×15人×12ヶ月) 間伐材の製材指導費 90,000円(@30千円×3か所) チェーンソー・部品販売収入 10,000円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	グリーンボランティア保険 60,000円(@3,000円×20回程度) 製材実技指導料 75,000円 消耗品 燃料 工具修理など 45,000円		
収支見込額(a-b)	10,000円		
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)	神奈川県立旭高校		
作成年月日	2013年8月15日	作成者名	下山康博

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	竹を活かす山仕事 (平成25年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)		
カテゴリー	ヤマ <span style="float:right">←ヤマ、ノラ、ムラ、ハレ、イキモノのいずれかを記入</span>		
リーダー	下山康博		
スタッフ (リーダーを除く)	もったいないから竹細工参加メンバー		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>畑や水源林である山々を侵食する竹林の手入れを行なう</li> <li>竹林整備を行なうことで、恵ある里山の生態系を維持する</li> <li>整備活動によって排出された竹材を有効活用する</li> <li>竹材を有効活用することで、都市部に暮らす人々に竹林整備の普及啓発活動へつなげる</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業への継続的な参加者を募る</li> <li>事業の運営を共に担うスタッフを募る</li> <li>他団体が実施するイベントへ積極的に参加し、事業への協力者を募る</li> </ul>		
内容	南足柄郡中井町にある竹林において、竹の間伐作業を行う。 切り出した竹は、竹ひご作りの練習用に用いたり、ミニ灯籠を製作する材料として活用する。 ※8月～9月の間は、伐り出し作業は無し		
日時	毎月第1日曜日 10:00～15:00		
場所	南足柄郡中井町		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9:00 京浜急行 上大岡駅集合(9:45 二の宮駅) 10:00 現地到着 作業開始 12:00 昼休み 13:00 作業再開 14:00 作業終了 材の積み込み 15:00 現地解散		
一般募集の有無	有：人数未定（NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集）		
参加費の有無	有：@500円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 500円×3×9回 13,500円 もったいないから竹細工収支見込 30,000円 市民事業補助金 159,000円 計 202,500円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	物品費 21,000円 旅費交通費 75,000円 保険料 3,000円 報償謝礼費 100,000円 計 199,000円		
収支見込額(a-b)	3,500円		
備考			
作成年月日	平成25年8月15日	作成者名	下山康博

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	よこはま里山レンジャーズ		
カテゴリ	ヤマ ←ヤマ、ノラ、ムラ、ハレ、イキモノのいずれかを記入		
リーダー	島村雅英		
スタッフ (リーダーを除く)	よこはま里山レンジャーズプロジェクトメンバー 自然環境復元協会(連携)		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に若者が里山保全活動に参加する。</li> <li>プロジェクト実施の持続性を検討し、プロジェクトを実施する</li> <li>成果を普及する</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト実施継続のための資金調達を確保する。</li> <li>延べ10回のプログラムを実施する。</li> </ul>		
内容	事業所や指定管理者などからの活動資金提供を模索しながら、引き続き、自然環境復元協会と連携して、レンジャーズ派遣を行う。 作業内容は、基本的に下草刈り、間伐材の搬出、簡単な枝打ち、落ち葉かきなど軽作業を基本とし、チェーンソーによる伐採等危険が伴う作業は行わない。		
日時	不定期、計10回程度		
場所	恩田の谷戸、カーリットの森、桜ヶ丘緑地、川井緑、新治、入船公園		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	8月:既存の受け入れ団体との活動調整 8月:活動資金調達の検討 9月～1月:フィールドでボランティアによる活動		
一般募集の有無	有:人数未定(NORAメルマガ・HP、自然環境復元協会からの呼びかけ)		
参加費の有無	無し		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	企業等資金調達	100,000円	計100,000円
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	報償費	80,000円 1式	80,000円 コーディネーター等謝金
	システム使用料	20,000円 1式	20,000円 自然環境復元協会
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	平成25年8月12日	作成者名	島村雅英

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	休耕地再生で農体験		
カテゴリ	ノラ ←ヤマ、ノラ、ムラ、ハレ、イキモノのいずれかを記入		
リーダー	下山康博		
スタッフ	山仕事プロジェクトメンバー		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>休耕農地を再生することで、畑の維持管理を体験する</li> <li>参加者が土作り・作付け・育成・収穫など一連の農作業を体験し、野菜を育て収穫する喜びを体感する</li> <li>山仕事プロジェクトにて排出される丸太材の保管および製材場所として活用する</li> <li>農地を借りている生産者の方が、常時作付けが可能のように土地を管理する</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に関わられるメンバーを増やす</li> <li>事業への協賛者を増やす</li> <li>メンバーのスキルアップを図る</li> </ul>		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地管理(草刈り・草取り・耕運)</li> <li>野菜の育成(作付け・設肥・追肥・防虫防菌管理・収穫)</li> <li>収穫体験の実施</li> </ul>		
日時	毎週月曜・水曜・金曜 10:00～16:00		
場所	横浜市旭区下川井町		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	7月 収穫作業 草刈り 種まき(にんじん・キャベツ・ブロッコリ・カリフラワー) 8月 収穫 草刈り 畝作り 種まき(かぶ・大根・白菜) 種植え(じゃがいも・にんにく) 9月 草取り 定植(キャベツ・ブロッコリ・カリフラワー) 種まき(上旬:白菜・大根・かぶ 中旬:じゃがいも・ほうれん草・小松菜・春菊 下旬:にんにく) 10月 草刈り草取り 追肥 収穫作業 小麦種蒔 11～1月 収穫作業 2～3月 耕作 4月 種まき(トマト・きゅうり・茄子・ピーマン) 中旬～下旬 草刈り 耕運 設肥 5月 定植(トマト・きゅうり・茄子・ピーマン) 中旬～下旬 種まき(枝豆・トマト・きゅうり・茄子・ピーマン・カボチャ) 草刈り・畝作り 6月 種まき(オクラ・モロヘイヤ・落花生) 苗植え(さつまいも) 草刈り 収穫(小麦)		
一般募集の有無	有:人数未定(NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:協賛メンバーは@5,000円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	協賛金(野菜販売)@60,000×12ヶ月	720,000円	収穫体験(施設使用料)@10,000×6回
			60,000円
			計780,000円
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	種苗購入費	50,000円	肥料・薬剤購入費
			100,000円
	資材購入費	100,000円	
	旅費交通費	60,000円	その他雑費
			60,000円(ガソリン・混合用オイルなど)
	予備費	50,000円	計
			420,000円
収支見込額(a-b)	360,000円 ※収支は山惣		
備考			
作成年月日	平成25年8月15日	作成者名	下山康博

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	ヨコハマで農業体験		
カテゴリ	ノラ		
リーダー	下山康博		
スタッフ (リーダーを除く)			
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部で生活する人たちへ、身近に農を体験する場を提供する。</li> <li>・都市型農業を継続する野菜生産農家の努力や、やりがいを体感する。</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に関わるスタッフ・メンバーのスキルアップ</li> <li>・新規参加者の継続的参加を誘致</li> </ul>		
内容	畑の草取りから収穫後の畑の片付け、野菜の種付けから収穫など畑仕事の一連を体験する。単なる体験ではなく、商品を育てる作業に関わるという認識を大切にして取り組む		
日時	毎月第3土曜日 10:00～16:00 (8月～9月は気温上昇が予想される為、実施中止)		
場所	横浜市保土ヶ谷区西谷町		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9:45 相鉄線西谷駅改札出口 集合 10:00 作業参加準備 作業内容説明 10:30 作業開始 12:00 昼食 13:00 作業再開 16:00 作業終了 17:00 解散		
一般募集の有無	有：人数未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	無 ←「有」の場合は金額を記入		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	無		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	無		
収支見込額(a-b)	無		
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	平成 25 年 8 月 15 日	作成者名	下山康博

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	NORA の野良仕事		
カテゴリ	ノラ		
リーダー	森末香織		
スタッフ (リーダーを除く)	鈴木、前田		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野良の現場から自然と上手に付き合う暮らし方・知恵・技・考え方を学ぶ</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な実施を目指す。</li> </ul>		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の方と相談の上決定。(人手が必要な収穫等に合わせ実施)</li> </ul>		
日時	年3回 (季節ごと 土、日、祝を中心に) 8:30～16:00 頃		
場所	小田原市下曾我・柏木圭介さんの農園		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	農家の方と相談の上決定。以下は例。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーベリーの収穫 8 月</li> <li>・みかんの収穫 11 月</li> <li>・キウイフルーツの受粉 5 月</li> </ul>		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有 300 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 4,500 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	お菓子 3,000 円 通信費 800 円 消耗品 700 円 合計 4,500 円		
収支見込額(a-b)	0 円		
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2013年 8 月 12 日	作成者名	森末香織

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	NORA 野菜市		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	インターンシップの方・有志ボランティア・若者のジョブとpレーニングなど積極的に上 入れたい。		
目的 (箇条書きで記入)	「神奈川・緑の劇場」の取り組みを支援し、連帯する活動。 「地産地消」の日常的な実践の場。NORAの活動を広く知らせ、仲間を募る場。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	同上		
内容	地場野菜の旬・適地適作・調理方法など、農産物の利用・情報を通して学ぶ。生産者 との交流の場に参加し、相互理解を深める。販売ボランティアスタッフになり利用する 人とのコミュニケーションを図る。など、都市生活と生産者・農業との繋がりが強く感じら れ、都市での暮らし方を見直すきっかけの場として活かす。 TPPをはじめ、当面する課題の情報提供が必要になる。		
日時	毎週火曜日 17～19時		
場所	南区宿町 2-40 大和ビル駐車場および「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2013年8月12日	作成者名	三好豊

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	神奈川野菜の食事会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	企画立案・準備など、スタッフ参加を楽しめる方向を模索したい。		
目的 (箇条書きで記入)	貴重な神奈川の農産物(国内全般も)がいよいよ、失われる危機に直面しています。 次の世代に引き継ぐための活動の一環です。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	同上		
内容	地場野菜の旬・適地適作・調理方法などを農産物の利用・情報を通して学ぶ。生産者 との交流をはかり相互理解を深める。会員と会員紹介の参加者同士のコミュニケーショ ンをはかる…など、都市生活と、生産者・農業とのつながりが強く感じられ、都市での暮 らしを見直すきっかけの場として活かす。		
日時	2012年9月から当面不定期。午後3時～準備・午後6時～9時		
場所	南区宿町 2-40 大和ビル 119号「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	会員と会員紹介者を中心に、一般の参加も促す。		
参加費の有無	参加費会員・会員家族 1,000円・一般1500円・小学生500円共通		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2013年8月12日	作成者名	三好豊

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	もったいないから竹細工 (平成25年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)		
カテゴリー	ムラ	←ヤマ、ノラ、ムラ、ハレ、イキモノのいずれかを記入	
リーダー	下山康博		
スタッフ (リーダーを除く)	講師:中元氏(日本の竹ファンクラブ) アシスタント:運営メンバー山口氏		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林整備で排出された竹材を有効活用する</li> <li>・竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る</li> <li>・竹細工の技術を身近に感じてもらい、ものづくりの楽しさを体験する</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規を含めた参加者の継続的な関わりを推奨する</li> <li>・参加者のスキルアップ</li> <li>・竹から竹ひご作りなど、参加者が材を作れるように促す</li> </ul>		
内容	<p>毎月第二土曜日に、日本の竹ファンクラブから中元氏を講師に招き、竹細工講習会を実施する。参加者が作る作品は、一回の講習会で仕上がるものから、3回程度にわたる時間を掛けて製作するものまで多岐にわたる。</p> <p>作った作品は、参加者がそれぞれに持ち帰ってもらう</p> <p>竹ひごや籐などの材料は、リーダーの下山及びアシスタントの山口氏にて用意する。</p> <p>毎月第四土曜日に、竹ひご作りの練習や竹の灯籠づくりなど、WSを行う</p>		
日時	毎月第二土曜日(竹細工講習会) 第四土曜日(竹細工作業日) 13:00～16:00		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)	12月 大岡川アートプロジェクト出展予定 4月 ふれあいパーク祭り出展予定		
一般募集の有無	有:定員10名(NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:@2,000円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	参加費:240,000円(@2,000×10名×12ヶ月) ミニ灯籠販売:12月 40,000円(大岡川アートプロジェクト、@800×50) 風ぐるまワークショップ:4月 10,000円(ふれあいパーク祭り、@500×20) 補助金 550,000円 計 840,000円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	物品費 83,000円 旅費交通費 12,000円 使用料及び賃借料 15,000円 報償・謝礼費 568,000円 事務費 10,000円 計 688,000円		
収支見込額(a-b)	152,000円		
備考			
作成年月日	平成25年8月15日	作成者名	下山康博

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	お話の会～はまどま劇場～		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	有志スタッフを募る。出演者を募る。		
目的 (箇条書きで記入)	はまどまを活用した「里山jの入り口」の一環。「心の栄養」と言える様々な表現活動のひとつ。お話の会を通して、新たな人と人との繋がりが生まれる。		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	同上		
内容	夕方は、子どもを中心にしたプログラム。手遊び、紙芝居、絵本、わらべ歌など。 「はまどまご飯」をはさんで、夜は、大人向けに。飲食しながらのお話ライブにできればと思います。		
日時	月に一回ペースにこだわらず、適した時期の開催。午後4時～午後9時・食事あり		
場所	南区宿町2-40 大和ビル119号「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	観客・出演者ともに一般から募集する。		
参加費の有無	参加費、通し参加1,500円。夕方の子ども向けは無料。		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2013年8月12日	作成者名	三好豊

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	はまどまシアター		
カテゴリ	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	有志スタッフを募る。		
目的 (箇条書きで記入)	はまどまを活用した情報発信・コミュニケーション促進の一環。貴重な記録映像を上映。 民族文化映像研究所(民映研)と連携しながら、日本列島の自然とともに生きた日本人の姿、暮らしの技術を見つめ、未来への道筋のヒントを見出し、社会に発信したい。 財政的な理由から、「はまどまで映画」(投げ銭式)なども積極的に行いたい。		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	同上		
内容	当面は、民族文化映像研究所のライブラリーを上映。		
日時	月一回程度から、頻度を上げたい。詳細検討。		
場所	南区宿町2-40 大和ビル119号「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無	参加費大人1,000円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2013年8月12日	作成者名	三好豊

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	筆で描こう～手書きの時間		
カテゴリ	ムラ		
リーダー	勝野真美		
スタッフ (リーダーを除く)			
目的 (箇条書きで記入)	今まで使ったことのない筆使いで文字を描く…新しいものに触れることは、新しい自分に出会うことだと思っている。それを紙の上に表現することを、今期の目的とする。		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	今年は子ども向けの講座も開催したい。(子どもにこんな筆使いを知っていたら世界が広がるのにとのご意見をいただいたので)大きい文字、小さい文字、カラフルな、シンプルな…形容詞で描く文字等、ほかにないプログラムも実験的に開催する。		
内容	基本の筆のストロークから、画材の違いを確かめながら、作品を描く。		
日時	今の所は不定期だが、第3日曜日が基本 10:00～13:00		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)	10:00 はまどま集合、基本ストロークの復習など		
	10:30 スケッチに出発		
	11:00 はまどまにて帰着、色付け		
	12:00 作業終了、後片付けと講評		
	12:30 解散		
一般募集の有無	有：人数未定(NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	一般 3,000円 会員 2,500円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	一人あたり2,000～1,500円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	画材費等、一人あたり500円～1,000円(描く素材によって金額は流動的)		
収支見込額(a-b)	500円 ※一人当たり500円をはまどまへ		
備考 (他団体との連携等を適当に記入)	粕谷恵さんのお香のセラピー講座も今後継続していく。		
作成年月日	2012年8月12日	作成者名	勝野真美

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	伊勢佐木町地モノ市		
カテゴリ	ハレ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	会員・一般・広く募集する。		
目的 (箇条書きで記入)	伊勢佐木町エコ商店街と連携しながら、地場農産物の販売を通じたコミュニケーション活動。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	同上		
内容	神奈川県内産農産物の販売と試食提供・スタッフ同士の交流。		
日時	未定(11月予定)		
場所	未定(伊勢佐木町6丁目予定)		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	20013年 8 月 12日	作成者名	三好豊

■NORA/第14期プロジェクト計画書(2013年7月～2014年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	旬の里山探訪		
カテゴリ	イキモノ		
リーダー	吉武美保子		
スタッフ (リーダーを除く)	新治里山公園運営プロジェクトのメンバー (新治里山「わ」を広げる会への協力)		
目的 (箇条書きで記入)	新治の自然の魅力をその折々に伝えることで、大切に思う仲間を増やすこと。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを絞った散策会とし、スタッフがそのテーマに応じた案内ができること。</li> <li>・記録を残していけるようにすること。</li> </ul>		
内容	午前中2時間程度のルートで、テーマに沿った解説を行いながら、散策する。 スタッフは2名。		
日時	毎月第1水曜。午前10時～12時		
場所	にいほる里山交流センター集合		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	<上記参照>		
一般募集の有無	あり		
参加費の有無	200円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	にいほる里山交流センター事業への協力のため、NORAへの収入はなし。		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)	新治里山「わ」を広げる会／新治里山公園運営プロジェクトへの協力		
作成年月日	20012年 8 月 13日	作成者名	吉武美保子

第4号議案 第14期（2013年7月～2014年6月）予算

[収入]

科目	第12期決算額	第13期予算額	第13期決算額	第14期予算額	備 考
会費	450,000	500,000	342,000	500,000	運営会員@12,000*16+一般会員@3,000*76+賛助会員@10,000*8
自主事業	576,660	700,000	687,065	700,000	はまどま660千円、各事業参加費等
販売	315,888	200,000	7,060	270,000	『ミルマップ』200千円、チェーンソー、消耗品販売等
受託	4,970,855	1,600,000	1,827,000	400,000	BESS受入
助成金	2,306,060	2,340,000	1,969,222	1,000,000	神奈川県水源環境895千円（平成25年度1,088千円）等
寄付金	385,379	350,000	781,685	450,000	ブルデンシャル生命保険、山仕事活動協賛金
雑収入	23,846	60,000	126,336	120,000	講師謝金等
当期収入合計 (A)	9,028,688	5,750,000	5,740,368	3,440,000	

[支出]

科目	第12期決算額	第13期予算額	第13期決算額	第14期予算額	備 考
事業人件費					
給料手当	380,000	0		0	主任研究員給料
臨時雇賃金		0		0	
福利厚生費		0		0	
法定福利費	2,902	0		0	社会保険料0円、労災保険料
事業委託費	3,477,600	1,520,000	1,009,200	800,000	受託事業外注費
諸謝金	210,000	1,240,000	1,817,141	300,000	竹細工講師謝金、会計ソフト入力
印刷製本費	2,260	450,000	51,600	250,000	『ミルマップ』250千円、報告書印刷、コピー代
旅費交通費	87,520	100,000	2,620	50,000	
通信運搬費	153,055	140,000	118,208	120,000	電話、IT、郵送料、宅急便、備品送料
器具備品費	893,140	50,000		300,000	自動カナナ119千円、薪割り機等147千円、資機材等
消耗品費	97,368	440,000	447,902	100,000	工具類、ソフト等
修繕費	9,745	10,000	21,000	10,000	
水道光熱費	108,056	100,000	111,289	110,000	
地代家賃		1,145,000	945,700	950,000	家賃@78,750*12
賃借料	975,000		4,200		
減価償却費			217,535	60,000	
保険料	107,128	100,000	114,268	120,000	グリーンボランティア保険60千円、イベント保険36千円
諸会費			5,400	10,000	町内会費、ネットワーク団体会費
調査研究費	3,600	20,000	2,000	10,000	資料購入、研修会参加
支払手数料			13,660	15,000	
広告宣伝費	6,000	10,000	15,750	10,000	
会議費	17,900	60,000		20,000	会議室料、茶代等
販売仕入	142,350	150,000	19,751	20,000	
雑費	1,300	10,000	38,065	10,000	
管理費					
通信運搬費			1,590		
消耗品費			28,300	20,000	
諸会費	32,400	20,000	10,000	10,000	
租税公課	193,640	75,000	220	5,000	
支払手数料	136,942	180,000	172,735	50,000	ネットバンキング25千円、振込手数料
交際費		10,000			
雑費		0	801		
固定資産除却損			21,621	0	
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	
当期支出合計 (B)	7,037,906	5,830,000	5,260,556	3,420,000	
当期収支差額 (A)-(B)	1,990,782	-80,000	479,812	20,000	

## 第5号議案 役員選任

前役員から全ての理事・監事は再任する。

これにともない、役員構成は下表のとおりとなる。なお、役員の任期は2年である。

理事	石田 周一	な～に谷っ戸ん田
理事	島村 雅英	横浜エコアップ研究所
理事	中川 櫛	中学校理科教員
理事	中林 博志	社会福祉法人あおぞら 理事
理事	松村 正治	恵泉女学園大学 教員
理事	三好 豊	神奈川・緑の劇場 代表
監事	平石 真司	特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ 理事長

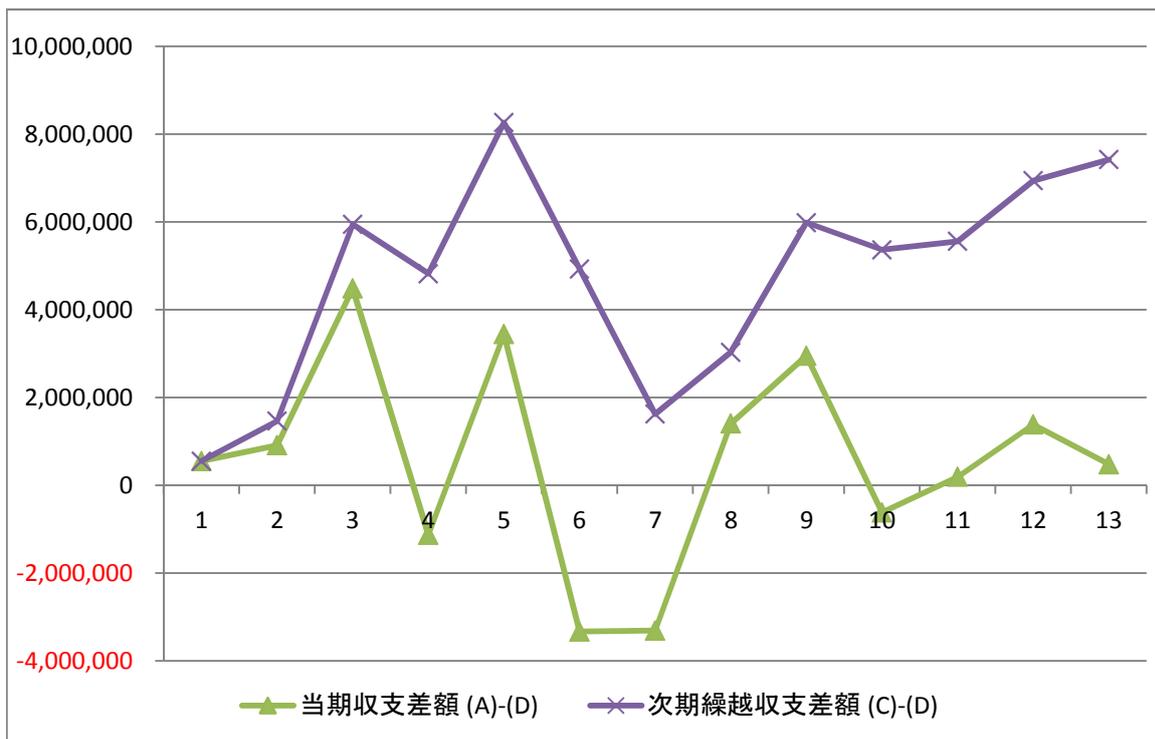


図 当期収支差額および次期繰越収支差額の推移

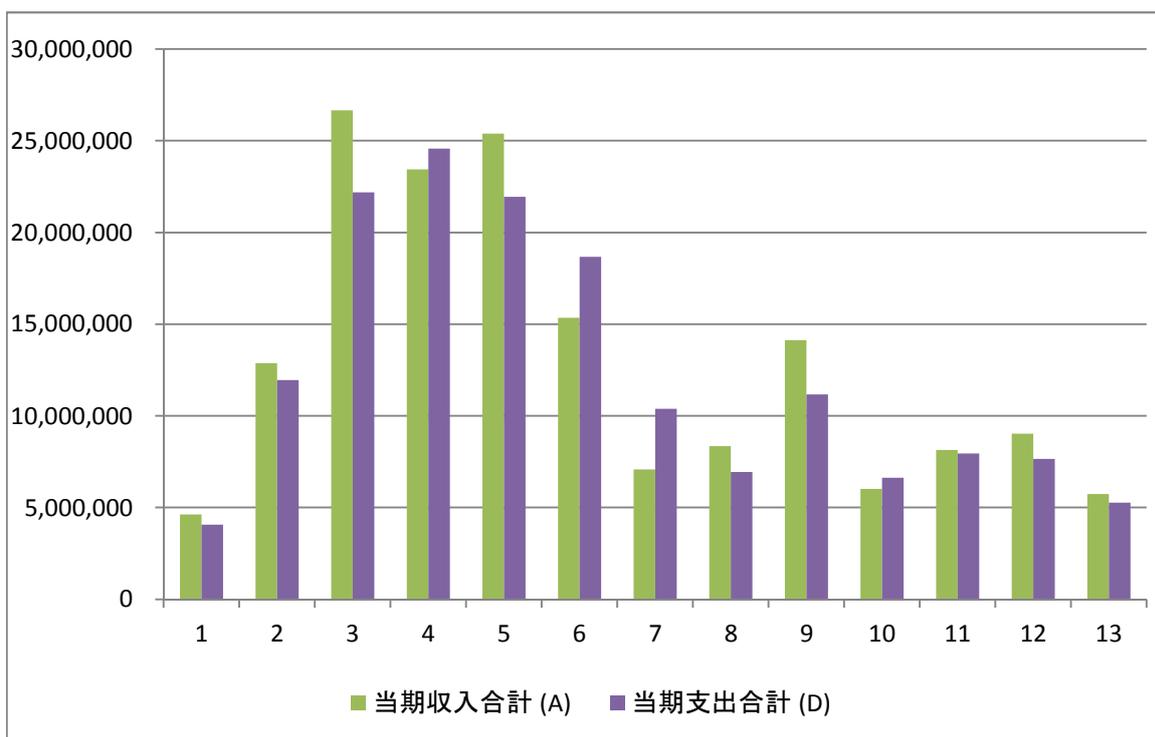
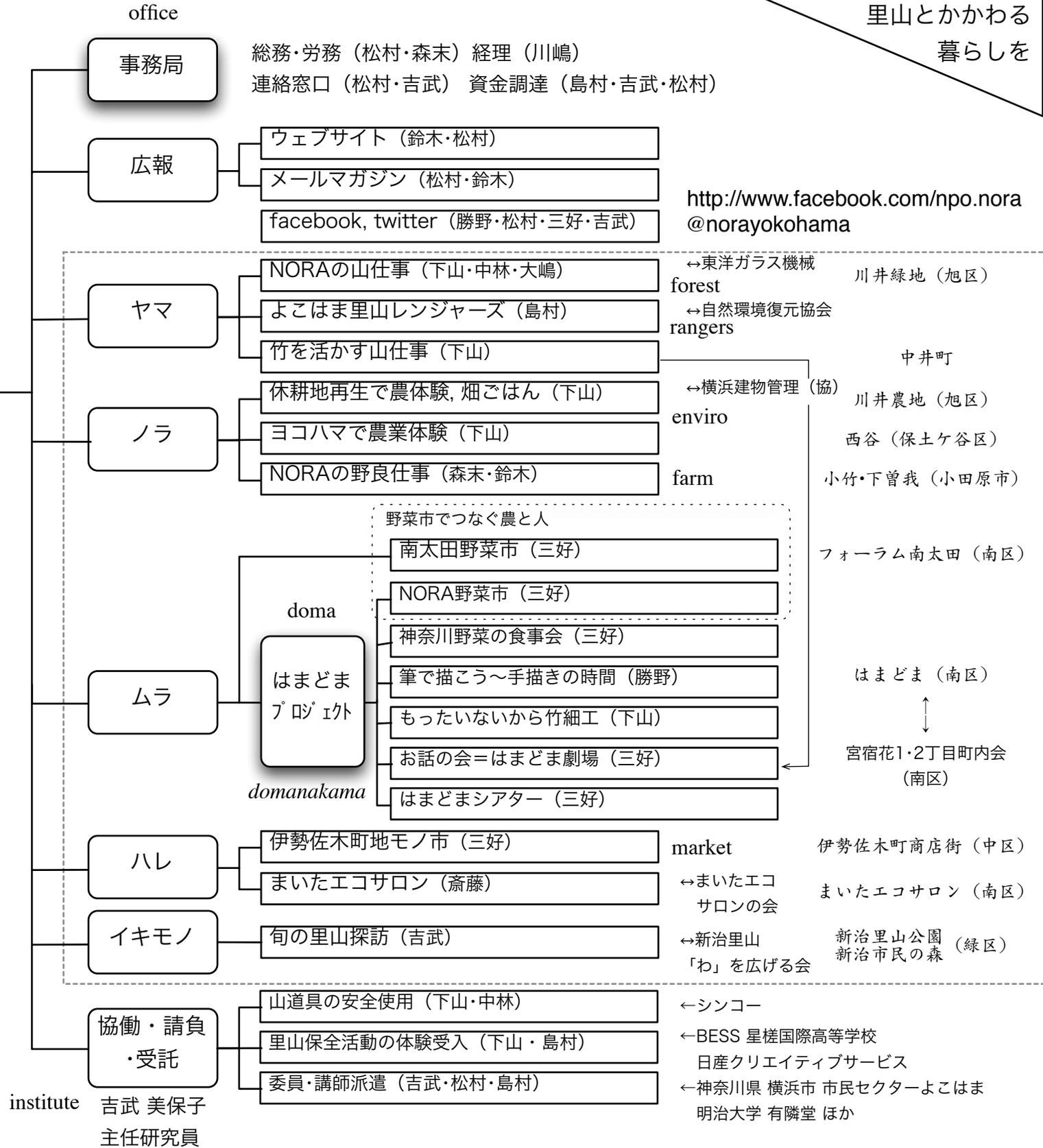


図 当期収入合計および当期支出合計の推移

特定非営利活動法人  
よこはま里山研究所~NORA  
http://www.nora-yokohama.org/  
info@nora-yokohama.org

(2013.8.18現在)



里山とかかわる  
暮らしを